



旭堂南陵氏(講談師)
ぎよくどう なんりょう / 68年近畿大学入学と同時に先代旭堂南陵に師事。78年小南陵を襲名し真打ち昇進。06年4代目南陵襲名。04年大阪文化祭賞グランプリ受賞。



西濱秀樹氏(関西フィルハーモニー管弦楽団理事・事務局長)
にしはま ひでき / 関西フィル主催のシンポジウムでの発言をきっかけにして'96年同事務局に入社、企画・営業・広報を担当。03年より現職。コンサートの司会も手がけている。



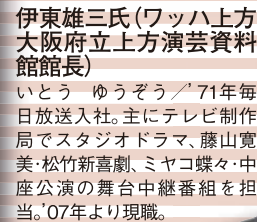
加藤種男氏(アサヒビール芸術文化財団事務局長)
かとう たねお / 90年アサヒビール(株)企業文化部課長就任以来、企業のメセナ活動を牽引。02年より現職。04年横浜市芸術文化振興財団専務理事を兼任。

大阪文化の力を見直し 創造的で活力ある社会に

大阪文化の危機的状況



広瀬依子氏(『上方芸能』編集長)
ひろせ よりこ / 89年『上方芸能』編集部入社、編集次長を経て08年から編集長。国立文楽劇場文楽公演専門委員。大阪文化賞審査委員。共著に『上方芸能事典』他。



伊東雄三氏(ワッハ上方大阪府立上方演芸資料館館長)
いとう ゆうぞう / 71年毎日放送入社。主にテレビ制作局でスタジオドラマ、藤山寛美・松竹新喜劇、ミヤコ蝶々・中座公演の舞台中継番組を担当。07年より現職。



土居年樹氏(天神橋筋商店連合会会長 丸玉一土居陶器店代表取締役)
父の急逝により19歳で店を継ぐ。斬新なアイデアで商店街の活性化に取り組み、天満天神繁昌亭の完成にも尽力。観光カリスマ百選。メセナアワード2009千客万来賞受賞。



芝川能一氏(千島土地(株)代表取締役社長)
しばかわ よしかず / 住友商事(株)勤務を経て'80年千島土地(株)入社。'05年より現職。



大阪の文化は、『タニマチ』という言葉で表される民間人によって支えられてきた。しかし社会情勢が大きく変化している今、行政(官)や企業それぞれが明確な役割を持って支援することが必要ではないか。あらゆる立場で文化に携わっている方々と現状を検証しながら、将来の可能性を模索したい。また、厳しい経済情勢の中、なぜ文化振興が必要なのか。地域コミュニティ再生のための政策提言である『ニュー・コンパクト』の観点から、魅力的な具体事例を紹介したい——議長/帯野久美子

議長

帯野久美子氏(株)インターアクト・ジャパン代表取締役
おびの くみこ / 追手門学院大学、聖ミカエル国際学校卒業。'82年個人翻訳活動を経て'85年(株)インター・アクトジャパン設立。'09年和歌山大学理事・副学長就任。

